

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

平成27年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 會津八一記念館		
所在地	新潟市中央区万代3丁目1番1号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 小田 敏三	電話番号	025-282-7612
		ホームページ	http://aizuvaichi.or.jp/
市所管課	文化政策課	電子メール	aizu-81@athena.ocn.ne.jp
基本財産 (基本金)	198,400 千円	設立年月日	昭和47年 5月 8日 (平成22年12月22日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	100,000 千円	50.4 %
	株式会社新潟日報社	2,400 千円	1.2 %
	株式会社新潟放送	2,400 千円	1.2 %
	株式会社本間組	2,400 千円	1.2 %
	株式会社福田組	2,400 千円	1.2 %
	その他	88,800 千円	44.8 %
設立目的	會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育・学術の交流に資すること。		
経営理念 経営方針	會津八一に関する調査研究、諸展覧の開催、諸種講演会、研究会の開催および印刷物の刊行、記念館の管理、その他法人の目的を達成するために必要な事業を遂行する。		

2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
會津八一記念館管理運営事業			會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資することを目的に、會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示(業務仕様書より)する。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	受託事業	支出額	千円	34,678	35,560	43,265	49,948
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
年間入館者数		計画	人	7,900	7,900	8,000	10,000
		実績		15,545	5,952	10,804	
年間入館料		計画	千円	2,800	2,800	3,000	3,000
		実績		交換展3,427・常設展1610	1,768	特別展2,727・常設展1,780	

事業名 ②			事業概要				
館碑移転除幕式・新館落慶法要			26年度は当館の移転に伴い、會津八一の原点をあらためて理解いただくため「會津八一の奈良～『鹿鳴集』の世界～」(8月1日～9月28日)を開催した。オープン前日には館碑の移転除幕式、落慶法要を奈良・京都の高僧13師が一堂に会して館の前途を祈願していただいた。移転効果からか、初めて入館する市民も多く反応をまずまずだった。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	3,854	3,174	6,230	3,532
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入館者数		計画	人	3,000	3,000	3,000	3,500
		実績		10,973	1,266	4,276	

事業名 ③			事業概要				
文芸講演会事業			当館主催の文芸講演会は26年度4回。5月は神林館長による「會津八一と絵手紙」、8月の特別展と八一祭記念では東大寺・森本公誠長老による「国造りとリーダー」、9月に薬師寺・山田法胤管主による「薬師寺と會津八一」、11月には企画展「會津八一と茶の湯」の関連事業として、江戸千家・川上宗雪家元による「私の茶の湯～會津八一との出会いを通じて～」をそれぞれ実施。学芸員の出前講座は7回実施。このほか、新潟大学の後期授業「地域文化論」の講師に、館長・事務長・学芸員が担い、會津八一の学芸などはじめ本県文化人の功績などを講義した。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	564	500	760	500
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
開催数		計画	契約	10	10	5	10
		実績		10	7	12	
聴講者数		計画	契約	1,500	1,500	1,500	1,500
		実績		2,036	873	1,410	

事業名 ④			事業概要				
販売事業			會津八一の「学規」割引セールは毎年度実施。27年度は当館開設40周年を記念し特別割引セールを実施中。来年度は會津八一没後60年であり、記念グッズの開発を検討中。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
収益事業	自主事業	支出額	千円	2,732	1,464	1,528	2,000
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
年間販売額		計画	千円	4,000	4,000	3,000	3,000
		実績		3,415	2,702	2,601	

事業名 ⑤			事業概要				
普及活動事業①写真コンテスト②講演・出前講座			①写真コンテスト＝26年度は第8回「會津八一の歌を映す」写真コンテストを開催、県内外から68人107点の応募があった。入賞作品は当館で展示後、4月早稲田大学、市島邸(新発田市)、5月ミューゼ雪小町(上越市)、6月いかるがホール(奈良県斑鳩町)と奈良県立図書館(奈良市)で開催。8月以降は京都・承天閣美術館、11月胎内市産業文化会館、翌年3月に中村屋サロン美術館(東京・新宿)で開催する予定。27年度は上越市など県内開催地を増やした。 ②出前講座＝中学・高校の修学旅行の事前学習はじめカルチャースクールでの出前講座も実施中。館長や学芸員に対する県内外からの講師依頼も増えている。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	2,399	2,700	2,386	2,500
活動指標・成果目標			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
「八一の歌を映す」写真コンテスト応募点数		計画	点	100	100	100	110
		実績		115	117	107	
館長・学芸員の出前講演会、講座回数		計画	回	5	10	10	10
		実績		20	25	15	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
役員数	10	10	11	11
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	9	9	10	10
市兼任	3	3	3	3
市職員OB				
他団体兼任	6	6	7	7
その他				
職員数	5	5	5	5
常勤	3	3	3	3
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	3	3	3	3
他団体からの派遣				
非常勤	2	2	2	2
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
職員の状況	管理職	2	2	2	2
	一般職	3	3	3	3
	合計	5	5	5	5
年齢構成	20代以下				
	30代	2	2	2	2
	40代				
	50代	1	1	1	1
	60代以上	2	2	2	2
	合計	5	5	5	5

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度予算
報酬・給与等	19,584	19,705	20,489	21,062
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	19,584	19,705	20,489	21,062
常勤	12,384	12,505	13,137	13,690
内 市職員分				
非常勤	7,200	7,200	7,352	7,372
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	4,128	4,168	4,250	
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般正味財産増減の部	経常収益	45,670	44,920	56,374
	基本財産運用益	3,327	3,190	3,185
	特定資産運用益		3	4
	受取会費			
	事業収益	39,481	38,805	49,541
	自主事業収益	6,455	4,939	4,671
	受託事業収益	33,026	33,866	44,870
	受取補助金等・負担金			
	その他経常収益	2,862	2,922	3,644
	経常費用	46,454	45,144	57,321
	事業費	43,756	42,794	53,984
	公益目的事業費	33,965	34,671	45,370
	収益目的事業費	5,089	3,357	3,276
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計	4,702	4,766	5,338
	管理費	2,698	2,350	3,337
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 784	▲ 224	▲ 947
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
	特定資産評価損益等			
	投資有価証券評価損益等			
	当期経常増減額	▲ 784	▲ 224	▲ 947
経常外収益	8,308	0	0	
経常外費用	1,641	70	70	
当期経常外増減額	6,667	▲ 70	▲ 70	
当期一般正味財産増減額	5,883	▲ 294	▲ 1,017	
一般正味財産期首残高	32,163	38,046	37,752	
一般正味財産期末残高	38,046	37,752	36,735	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金	0	0	0
	その他	3,333	▲ 147	▲ 147
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 73	147	147
	当期指定正味財産増減額	3,260	0	
	指定正味財産期首残高	198,465	201,724	201,724
指定正味財産期末残高	201,725	201,724	201,724	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高		239,771	239,476	238,459

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	19,584	19,705	20,489
役員分			
職員分	19,584	19,705	20,489

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度
資産の部	資産の部合計	246,902	247,519	246,815
	流動資産	14,550	14,749	13,569
	現金預金	6,176	6,003	5,169
	未収金	109	53	8
	有価証券			
	その他流動資産	8,265	8,693	8,392
	固定資産	232,352	232,770	233,246
	基本財産	201,724	201,577	201,430
	特定資産	26,258	26,584	27,238
	その他固定資産	4,370	4,609	4,578
	有形固定資産	4,340	4,579	4,548
	無形固定資産	30	30	30
	その他投資等			
負債の部	負債の部合計	7,131	8,043	8,356
	流動負債	2,578	2,868	2,532
	短期借入金			
	その他流動負債	2,578	2,868	2,532
	固定負債	4,553	5,175	5,824
	長期借入金			
その他固定負債	4,553	5,175	5,824	
正味財産の部	正味財産の部合計	239,771	239,476	238,460
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	201,725	201,724	201,724
	うち補助金	201,725	201,724	201,724
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	38,046	37,752	36,736
	代替基金			
その他一般正味財産	38,046	37,752	36,736	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)	26,257			
負債の部及び正味財産の部合計	246,902	247,519	246,816	

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市財政支出等の合計	34,758	35,640	48,540
補助金	0	0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金	80	80	80
交付金			
委託料	34,678	35,560	48,460
内 随意契約額※	34,678	35,560	48,460
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

--

(4) 遊休財産の状況

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
純資産	239,771	239,476	238,460
公益目的保有財産	▲	▲	▲
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
抛出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	239,771	239,476	238,460

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
経常損益		▲ 784 千円	▲ 224 千円	▲ 947 千円
自己資本比率	純資産	97.1 %	96.8 %	96.6 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	564.4 %	514.3 %	535.9 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	95.1 %	95.1 %	95.5 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	41,371 千円	41,076 千円	40,060 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	81.3 %	85.9 %	87.3 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	0.14	0.14	0.19
	遊休財産額			
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	● 有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	○
		○ 無		○
		○		
		○		

（2）団体の自立性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	64.4 %	79.3 %	86.1 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	7,896 千円	7,761 千円	9,908 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	▲ 157 千円	▲ 45 千円	▲ 189 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	5.6 %	5.2 %	5.8 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	540 千円	470 千円	667 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	36.3 %	43.9 %	36.3 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔 會津八一記念館中期運営計画・原案策定中 〕 計画5年 平成 28～33
概要・数値目標	
<p>現在計画策定中。普及活動としては①市内・県内 ②奈良および京都を中心に全国へ③海外へ—の射程にしている。①市内・県内は展示、講演活動、修学旅行の斡旋④文学散歩とバス小旅行。②国内は他館との作品交換展や巡回展の拡大、講演（奈良、京都、東京などへ）の積極的進出。③は東アジアシンポを契機に海外の美術館や大学で會津八一展を開催。また国内における定期交流の場＝「関西秋艸会」（仮称）の設立が当面の課題、—など。年間入館者1万人、年間講演・講座は12回以上、聴講者延べ2000人以上を確保する数値目標を常態とする。とりわけ市内の中・高への修学旅行の内容に関わりを深めることを重視する。作品の充実化では、収蔵書簡の解説を推進し、會津八一交流文化人の遺族と交流を推進し、八一作品の有償・無償の受け入れを拡大する。</p>	
	<p>未策定理由</p> <p>〔 策定する原案は事務長がたたき台を作成するが、その内容が間もなく実現することで、幾度も練り直すことが続いたため。また、身の丈以上の企画が相次ぎ、長期計画をじっくり議論する余裕が職場の現況にはない。 〕</p>

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
● 有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成18年度～ 依頼先職種〔 税理事務所 〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 27年度～ 〔 記念館グッズの整備充実と在庫管理および販売価格表の整備を図り、窓口販売員が不在でも学芸員など日常的に代行でき体制を整える。 〕
● 無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 平成17年度～ 〔 生涯学習事業への支援はじめカルチャースクールの講師などを務め、知識の整理と普及の技術を現場で習得する。隣接の文化の記憶館と連携し、幅広い知識を習得し、普及の材料を集積する。上部団体の研修会にできるかぎり派遣する。学術誌へ積極的な執筆を推進し、実行している。 〕
● 無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定期間 平成12年度～ 規定名称〔 公益財団法人會津八一記念館情報公開規定 〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 21年度～
			● 事業内容 21年度～
			● 役員名簿 21年度～
			● 役員報酬 年度～
			● 事業報告 21年度～
			● 正味財産増減計算書 21年度～
			● 貸借対照表 21年度～
			● 事業計画書 21年度～
			● 予算概要 21年度～
● 無	未整備理由 〔 役員は無報酬 〕		

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
①開館40周年の27年度東アジア<書之美>シンポジウムおよび関連展覧会を成功させること②28年度は會津八一没後60年を記念し、幅広く関係した著名人を招き、若い世代にあらためて會津八一を刷り込む事業展開を進める。					
改善・対応区分	改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容	①法隆寺への歌碑（2基）建立除幕し、會津八一生前の悲願を実現した。 ②浅川園の八一書碑は古町に移設する計画で新潟市と協議中。				
① 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	①東アジア<書之美>シンポの成功及び報告書の仕上げ。 ②没後60年事業として内外で多角的な事業を進める。 ③海外交流を契機に海外で會津八一展を開催する ④浅川園の歌碑は27年度中に古町通に実現したい。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工程	東アジア<書之美>シンポジウム開催	没後60年事業		
		浅川園書碑移設除幕式	海外での會津八一展		

今後の取組み					
没後60年事業として、将来の跳躍台となる記念事業を多角的に展開する。					
改善・対応区分	改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容	メディアシップ移転後の記念特別展「會津八一の奈良」をはじめ、各展覧会の入場者数は増加し、26年度は10か月開催（移転のため2か月休館）で従来目標だった1万人を達成した。隣接の文化の記憶館展示室を特別展では有効に借用し、展示のボリュームアップによって、記念館が狭くなったという印象を克服した。				
② 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	長年の目標・入館者1万人を達成したが、これを定着させること。同時に今後開催する會津八一記念館特別展は、できるだけ文化の記憶館の展示スペースを活用し、展示のボリュームアップすることで、展示室が狭くなったという印象を払しょくする。記憶館も會津記念館に連動した企画を行うなど、できるだけ相乗効果が出るように働きかける。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工程	八一祭, 館長講座	特別展「京都・有鄰館展」と記念講演会開催		
		写真コンテスト	4月1日から第9回の募集。これと連動させて巡回展を開催。	第10回写真コン募集	

今後の取組み					
新潟県が書道という文化では歴史的に大きな業績の人物を輩出し、現在も活発な活動が続いていることを市内外はもちろん全国に印象付ける。その代表の一人が會津八一であることを前面に打ち出す。					
改善・対応区分	改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない	
前年度の改善・対応内容	移転および新館落慶法要で、會津八一記念館が奈良や京都の寺院・高僧といかに密接な関係を維持し、また奈良・京都から會津八一が今日なお尊敬されているかを示した。				
③ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	従来からの念願だった「東アジア<書之美>シンポジウム」を成功させ、新潟が「書の王国」であることを国内外にアピール。これにより良寛、巻菱湖、會津八一と書の伝統を守る文化都市であると内外に発信したい。			
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	工程	東アジア<書之美>シンポジウム			

今後の取組み					
奈良・京都との定期交流第1回を京都で実施することを目指す。その際に會津八一展も同時開催したい。学芸員を市内はじめ県内外に講師として売り出す。					
改善・対応区分		改善・対応済み	● 改善・対応中	検討中	実施しない
前年度の改善・対応内容		奈良や京都に打診中。			
④ 今後の改善・対応 工程	今後の改善・対応方針等				
	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		奈良・京都定期交流会			

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み								
後継者の育成と併せ、増員を検討しなければならない。								
改善・対応区分		改善・対応済み	●	改善・対応中		検討中		実施しない
前年度の改善・対応内容	作品の借用交渉から集荷まですべて学芸員独力でできることが多くなった。							
今後の改善・対応方針等	全職員がイベントの企画から出演交渉や運営まですべての工程を担えるようにしたい。							
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		開館40周年事業	東アジア<書之美>シンポジウム	内外で會津八一展				
		新商品などの開発	①往復書簡集刊行、②一筆箋、③オリジナルTシャツ	①没後60年記念「會津八一のいしぶみ」改訂版				

今後の取組み								
引き続き會津八一の業績を顕彰するため、各取組みについて、内容の検証と継続的展開が望まれる。								
改善・対応区分		改善・対応済み	●	改善・対応中		検討中		実施しない
前年度の改善・対応内容	①写真コンテストは応募者が常連化しつつある②移転やその行事など多忙のため館長講演を減らした③展覧会の無料開放日を設けた。							
今後の改善・対応方針等	①写真コンテストの広報について再検討する②館長講演会を増やし、文化の記憶館と共催する③新潟市の11月3日だけでなく誕生日8月1日、命日の11月21日も無料開放を検討したい。							
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
			巡回展開催地を県内外で増やす					

今後の取組み								
中長期計画の策定にあたっては、市が策定した新潟市文化創造都市ビジョンの方向性に沿ったものとされたい。								
改善・対応区分		改善・対応済み	●	改善・対応中		検討中		実施しない
前年度の改善・対応内容	原案の作成途上にある。							
今後の改善・対応方針等	原案における課題が1, 2年のうちに実現となるため、次々と書き直しが続いている。							
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
		①長期計画作成の意義	職員一同で将来計画や目標を討議することが重要					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	県外との交流の増加や事業の広がりなどから、交流関連の経費が増加しつつあるので、抑制的に交流を持続させる必要がある。
団体の自立性	手づくりの企画を、新潟市と協議しながら運営をしており、その際の実行はほとんど団体の独力である。
経営の効率性・適正性	入館者が増加し、わずかながら指定管理料の恩返しを増加している。一昨年に基本財産の運用益でイベント基金500万円として残しており、運営に機動性を持たせている。
その他	実質4人の職員で、年4回の展示、10回以上の講演会、そして県内外との交流の拡大など、華々しい事業を展開しており、きわめて経営効率が高いはず。
総括的な所見	
小規模館でありながら、交流範囲は首都圏、奈良、京都を中心に濃密に重ねており、會津八一の文芸に対応して、短歌の文学性、墨書の美術性、東洋美術史の学問性という多面的な展示や講演会ならびに歌碑建立運動などを実施し、幅広くファン層を確保する努力をしている。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	會津八一を通しての京都、奈良との絆を深め、通常では実現が難しい相国寺承天閣美術館との交換展「若冲・応挙の至宝—京都相国寺と金閣・銀閣 名宝展—」をはじめ、有鄰館所蔵名品展を実現している点を評価する。
課題及び改善すべき事柄	少人数の職員での施設運営となるため、情報の共有化と分かり易い事務引継ぎに注力いただき、事務の効率化を図るとともに、人材登用計画を計画的に進めていただく必要がある。
今後の指導方針	入館者数実績が、平成26年度は前年度と比較すると大幅に増加しているが、メディアシップへの移転効果だと思われる。一過性で終わらせないため、魅力的な企画の発信と積極的な広報を進めていただきたい。

【今後の取組み】

①	①奈良や京都との定期交流を実現し、新潟市と奈良が結んだ「歴史文化交流協定」、京都市との「観光文化交流宣言」を継続性のあるものとして、双方に人事異動があっても途切れない関係を確立する②會津八一の学芸を海外に広め、その反響が国内にこだまする企画を実現する③奈良・西大寺での歌碑建立④京都市内及び比叡山に歌碑建立の実現
②	
③	
④	

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	● 改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
<p>會津八一の歌碑建立などの事業の実施や、奈良・京都との交流、県外での展覧会実施など、會津八一の業績を伝え広める活動を行ったことは評価できる。</p> <p>記念特別展などを実施し、入館者数目標1万人を達成した事は評価できる。</p> <p>小規模施設、少数の人員で會津八一の業績を伝え、広げる事業活動に取り組んでいることは評価できるが、設立目的を果たすには、現状の体制のままでは厳しいと思われる。</p> <p>中長期計画は原案を作成中だが、まだ策定には至っていない。</p>			
今後の取組みに対する評価、改善指示事項			
<p>設立目的遂行のために、京都、奈良との交流を深めていることや、歌碑を建立したことは評価でき、継続して取り組むべきである。</p> <p>各種イベントの実施を通じて増収に結びつけたが、赤字である。赤字の解消に取り組むべきである。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

平成28年2月25日 理事長 小田 敏三
<p>奈良京都との交流は①歌碑建立②作品の借用③講演会の講師相互派遣④写真コンテスト入賞作品の巡回展(奈良京都市内)⑤會津八一歌碑めぐりの旅一などで交流を深めてきた。しかし、イベントごとの交流では限界があり、27年度2月に第一回の定期交流会を京都市で開催した。今後はさらに交流を組織的な内容に拡大する方針を固めている。なお28年度は會津八一没後60年であり、記念事業を多角的に実施する計画である。財政についてはあるべき姿を念頭に、収益事業・公益事業に取り組んでいく。長期計画の策定は、現在、原案を基に職員の協議が進行中で、28年度には完成させたい。</p>

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項						
各種イベントの実施を通じて増収に結びつけたが、赤字である。赤字の解消に取り組むべきである。						
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		赤字について＝公益財団法人は繰越金が増加すれば良いという団体ではない。単年度の収支は赤字にしているが、実際は繰越金を減少させているだけである。もちろん収益事業の拡大強化のため、各種グッズ開発などを進めたい。			
	工程	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		普及・発信活動			全国の歌碑を紹介するガイドブックを出版する。	小学生までの年齢を対象に八一の生涯を描いた絵本を出版する(28年度に着手)

改善指示事項						
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等					
	工程	実施事項	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度